

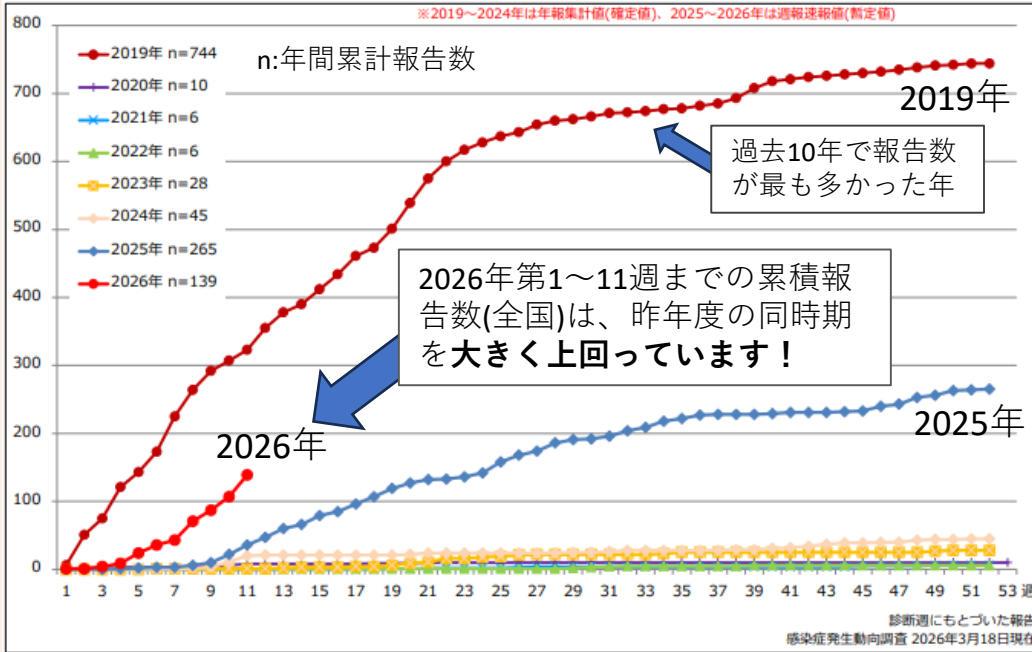


発生動向等サーベイランス情報

国内で麻疹(はしか)の報告が増えています！



◀注目すべき
感染症 麻疹
(JIHS HP)



◀麻疹累積報告数の推移(全国)
麻疹 発生動向調査 (JIHS HP)から抜粋



栃木県内では、今年に入って16例の発生が確認されています。

手指消毒やマスクのみでは予防できません！
ワクチン接種歴がない場合や接種歴不明の場合はワクチン接種を検討しましょう！

感染対策のポイント

シリーズ21:修飾麻疹にも注意！！

過去にワクチンを接種したものの、適切な回数(2回)の接種を受けていない方や、時間の経過とともに免疫(抗体価)が低下した人が、麻疹ウイルスに感染することで麻疹を発症すると、通常の麻疹よりも症状が軽く(発熱も軽度で、皮疹も軽度で少数)、経過も短い「修飾麻疹」になることがあります。「典型的な麻疹の症状」が出そろわないため、見逃されやすいという問題点があります。修飾麻疹であっても、ウイルスの排出が起こるので、周囲に免疫が無い方がいた場合、麻疹を拡げてしまう原因となります。母子手帳で、自分が過去に何回ワクチンを打ったか確認しましょう。現在推奨されているのは2回接種です。1回しか打っていない世代(2000年4月1日生まれ以前、とくに1990年生まれ以前)は、抗体が低下している可能性が高いです。

感染症専門家からのアドバイス



麻疹ワクチンを1回しか打っていない人は、追加接種(ブースター)によって完全な免疫獲得が可能です。主治医に相談してみましょう。少し手間・コストはかかりますが、麻疹に対する抗体検査を受け、現在の免疫量を確認してから、追加接種の可否を判断する方法もあります。